

静岡県月例経済報告

(令和5年5月号)

……令和5年3月を中心とした県内経済のすがた……

No. 565

—静岡県経済産業部—

目 次

I 静岡県経済の概況	1
II 静岡県主要経済指標の概況	6
・需要面	6
・生産面	14
・雇用面	16
・その他	19
III 静岡県主要産業の動向	23
IV データからみた県内主要産業	26

利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL)

<https://www.pref.shizuoka.jp/sangyoshigoto/keizaisangyo/tokeishiryoku/getsureihokoku/index.html>

I 静岡県経済の概況

〔 本稿は、令和5年3月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。 〕

概況

令和5年3月を中心とした静岡県の景気は、物価高騰や供給制約等の影響から、一部に弱さがあるものの、基調としては持ち直している。

先行きについては、全体としては持ち直しの動きが期待される中、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけ変更が与える影響に配慮する必要があるほか、引き続き物価高騰や供給制約等が及ぼす影響に注意する必要がある。

雇用情勢は、改善の動きに一服感がみられる。

- ・ 個人消費は、緩やかに持ち直している。
- ・ 設備投資は、増加の動きがみられる。
- ・ 輸出は、増勢が鈍化している。
- ・ 生産は、弱い動きとなっている。

（下線部は前月からの変更箇所）

需要面

「個人消費は、緩やかに持ち直している」

大型小売店販売額(3月)は、スーパーが2か月連続で前年実績を下回ったものの、百貨店が3か月連続で前年実績を上回ったため、総額でも4か月連続で前年実績を上回った。

専門量販店等販売額(3月)は、家電大型専門店が2か月ぶり、ホームセンターが3か月連続で前年実績を下回ったものの、コンビニエンスストアが5か月連続、ドラッグストアが23か月連続で前年実績を上回ったため、総額でも15か月連続で前年実績を上回った。

自動車(新車)新規登録台数(3月)は、乗用車、軽自動車がいずれも7か月連続で前年実績を上回ったため、総数でも7か月連続で前年実績を上回った。

「住宅建設は、前年を下回った」

新設住宅着工戸数(3月)は、貸家が5か月連続で前年実績を上回ったものの、持家、分譲住宅がいずれも2か月連続で前年実績を下回ったため、総数でも2か月連続で前年実績を下回った。

「公共投資は、前年を上回った」

公共工事請負金額(3月)は、2か月連続で前年実績を上回った。

「設備投資は、増加の動きがみられる」

日銀短観(3月調査)の令和5年度の設備投資(含む土地投資)(計画)は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。

また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）（計画）は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。

着工建築物床面積（非居住用）（3月）は、2か月ぶりに前年実績を上回った。

「輸出は、増勢が鈍化している」

「輸入は、前年を上回った」

輸出総額（3月）は、自動車の部分品が9か月連続で前年実績を下回ったものの、原動機が6か月連続、エアコン、科学光学機器がいずれも10か月連続、自動車が3か月連続、二輪自動車類が17か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも10か月連続で前年実績を上回った。

また、輸入総額（3月）は、木材が4か月連続、原動機が3か月連続、自動車の部分品が2か月連続で前年実績を下回ったものの、魚介類及び同調製品が12か月連続、パルプが2か月ぶり、紙類及び同製品が6か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも26か月連続で前年実績を上回った。

なお、輸出入のバランスは、1,024億円の輸出超過となった。

生産面

「生産は、弱い動きとなっている」

鉱工業生産指数は、業種別にみると、電気機械が4か月連続、化学が2か月ぶり、パルプ・紙・紙加工品が5か月連続で前年水準を下回ったものの、はん用・生産用・業務用機械が8か月連続、輸送機械が2か月ぶり、食料品・たばこが2か月連続で前年水準を上回ったため、総合でも2か月ぶりに前年水準を上回った。また、前月比は3か月ぶりに増加した。

なお、鉱工業在庫指数は、総合では2か月ぶりに前年水準を上回った。

雇用面

「雇用情勢は、改善の動きに一服感がみられる」

有効求人倍率（3月）は1.23倍となり、前月を0.04ポイント下回った。全国値を0.09ポイント下回った。

雇用保険受給者実人員（3月）は、22か月連続で前年実績を下回った。

また、所定外労働時間指数（2月）は、15か月連続で前年実績を上回った。

その他

「金融環境は、貸出残高、信用保証金額はいずれも前年を上回った」

県内金融機関の貸出残高（2月）は、前年同月比 0.4%増と前年実績を上回った。

信用保証協会保証金額（3月）は、前年同月比 35.2%増と前年実績を上回った。

「企業倒産は、件数、負債総額のいずれも前年を下回った」

企業倒産（4月）は、件数は11件（前年同月比 42.1%減）、負債総額は627百万円（同 89.4%減）と、いずれも前年実績を下回った。

静岡県の試験研究を応援してください!



クラウドファンディング実施中

アカデミスト 静岡県

検索

静岡県では試験研究費の水準を維持・拡充するとともに試験研究機関の取組みを広く知っていただくため、クラウドファンディングを活用した研究資金を募集します。

2023年 5/24(水)~7/20(木)

乳酸菌とお米の力でイチゴやメロンの良さを引き出して産地活性化に貢献する!

目標金額 60万円

静岡県産イチゴやメロンを米とともに乳酸発酵させ、新たな活用法を研究します

乳酸菌とお米の力で、イチゴとメロンのヨーグルト様発酵食品をつくる!



静岡県農林技術研究所 加工技術科

プロジェクトの詳細・御支援はこちら

<https://academist-cf.com/projects/297>



乳牛を健康に飼育するために、牛の体重を測るスマートフォンプリを作りたい!

目標金額 80万円

3D画像から乳牛の体重を推定するスマートフォンプリを開発します



体重測定のための画像撮影



撮影時のスマートフォン画像(イメージ)

静岡県畜産技術研究所 酪農科

プロジェクトの詳細・御支援はこちら

<https://academist-cf.com/projects/296>



植物由来の新素材「CNF」を使って環境にやさしい社会を実現させたい!

目標金額 110万円

TEMPO酸化法による、より省エネルギーなCNFの普及に取り組みます



樹木等の植物を原料としています



「TEMPO酸化CNF」

CNF(セルロースナノファイバー)とは 植物から得られる繊維をナノメートル単位まで細かく解きほぐした微細繊維材料。補強効果、保湿・保水性等の特性を持ち、樹脂製品などの幅広い産業への応用が期待されています。

静岡県工業技術研究所富士工業技術支援センター CNF科

プロジェクトの詳細・御支援はこちら

<https://academist-cf.com/projects/298>



製茶のCO₂排出量を可視化して静岡県のお茶を世界へ!

目標金額 120万円

環境に配慮したお茶づくりと輸出支援のため、製茶で排出されるCO₂の手軽な見える化技術を開発します



静岡県農林技術研究所茶業研究センター 新商品開発科

プロジェクトの詳細・御支援はこちら

<https://academist-cf.com/projects/295>



リターン一覧 本クラウドファンディングはAll or Nothing方式(購入型)です。目標金額に達しない場合は研究を実施せず、支援金は返金されます。

- 1,100円 お礼メッセージ
- 5,500円 研究報告レポートにお名前掲載
- 11,000円 成果発表会に御招待(達成した静岡県プロジェクトと同時開催)
- 33,000円 論文謝辞にお名前掲載
- 55,000円 オンラインサイエンスカフェ
- 77,000円 個別ディスカッション
- 110,000円 各研究所又は研究センターHPにお名前掲載
- 他

【お問い合わせ先】 静岡県経済産業部産業イノベーション推進課 TEL.054-221-2609

富士山静岡空港企業サポーターズクラブ

ビジネスサポート キャンペーン



出張等におトク!

合計最大

8,000円

CASH
BACK

まずは入会!



令和5年度

第1期 対象期間 令和5年4月1日～6月30日

第2期 対象期間 令和5年7月1日～9月30日

※申請状況により、第2期の補助額等は変更となる場合があります。その際は、富士山静岡空港利用促進協議会ホームページ等でお知らせします。

まずは、企業サポーターズクラブへご入会ください!!

- ① まずは、裏面の入会届出書をご提出頂き、ご入会
(入会前の利用は対象外)
- ② 出張等で富士山静岡空港発着便をご利用
- ③ 富士山静岡空港利用促進協議会事務局へ、補助金
交付申請書と、搭乗されたことを証明する資料の
写しをご提出 第1期/令和5年 7月10日(月) **必着**
第2期/令和5年10月10日(火)
- ④ 会員企業の指定口座へ振込み

静岡県内だけでなく、静岡県外の法人様もご入会・ご利用いただけます

日本国内の法人にご入会頂けます。

- 株式会社、合名会社、合資会社、合同会社等の事務所又は事業所
- 監査法人、弁護士法人等、各士業の法律に基づく法人
- 学校法人、医療法人、一般社団(財団)法人、商工会議所、協同組合等の非営利の法人もご入会頂けます (詳しくはお問い合わせ下さい)

▶入会金・年会費無料◀

富士山静岡空港のご利用で

1 **4,000円** 往復
キャッシュバック!
※片道の場合2,000円、
1会員1期あたり最大2万円(10片道)

4,000円

国際線就航先空港の
トランジット利用で

2 **2,000円** 往復
キャッシュバック!
片道1,000円
※1会員1期あたり最大1万円(10片道)

2,000円

静岡県内の西部・東部地域の
企業様がご利用の場合には

3 **2,000円** 往復
キャッシュバック!
片道1,000円
※1会員1期あたり最大1万円(10片道)
西部地域「湖西市、浜松市、豊田市、袋井市、
掛川市、菊川市、御前崎市、森町」
東部地域「富士市以東の市町」

2,000円

問い合わせ / 富士山静岡空港利用促進協議会
〒420-0851 静岡市葵区黒金町20-8 静岡商工会議所会館内
Tel. 054-252-8161(平日9:00～17:00) ※12:00～13:00は除く
登録は、申し込み必要事項を記入し、FAXにてお申し付けください。

詳しくは企業サポーターズクラブのページへ
最新のお得なツアー情報も掲載中!
<http://www.fs-airport.com>

富士山静岡空港サポーターズクラブ

検索



<トピックス> 業種別の経済・雇用情勢

① 県制度融資の申込状況

(令和5年5月23日時点)

区分		申込状況		
		金額	件数	業種別の状況
R2 ～4	新型コロナウイルス感染症対応枠(旧) 【R2.2.12～4.17終了】	億円 2,334	件 8,158	卸小売業23.5%、製造業22.0%、建設業17.1%、飲食業12.8%、宿泊・旅行業3.5%、運輸業2.9%等
	国連携新型コロナウイルス感染症対応貸付 【R2.5.1～R3.3.31】	億円 8,064	件 53,666	建設業26.0%、卸小売業19.8%、製造業19.5%、飲食業7.9%、運輸業2.9%、宿泊・旅行業1.3%等
	新型コロナウイルス感染症対応枠(新) 【R2.4.28～R5.3.31】	億円 872	件 5,790	建設業31.7%、卸小売業18.7%、製造業15.0%、飲食業7.9%、運輸業3.4%、宿泊・旅行業1.7%等
	新型コロナウイルス感染症対応伴走支援 特別貸付【R3.4.1～R5.3.31】	億円 620	件 3,802	建設業25.7%、卸小売業21.3%、製造業20.3%、飲食業10.0%、運輸業3.9%、宿泊・旅行業2.6%等
	再生支援企業貸付(新型コロナウイルス 感染症対応枠)【R3.4.1～R5.3.31】	億円 30	件 127	製造業41.7%、卸小売業27.6%、運輸業9.4%、建設業8.7%、飲食業3.1%、宿泊・旅行業3.1%等
R5	新型コロナウイルス感染症対応枠(新) 【R5.4.1～】	億円 11	件 77	建設業42.9%、卸小売業19.5%、製造業14.3%、運輸業3.9%、飲食業2.6%等
	新型コロナウイルス感染症対応伴走支援 特別貸付【R5.4.1～】	億円 129	件 634	製造業25.2%、建設業24.0%、卸小売業22.4%、飲食業6.6%、運輸業2.7%、宿泊・旅行業0.6%等
	再生支援企業貸付(新型コロナウイルス 感染症対応枠)【R5.4.1～】	億円 1	件 2	製造業50.0%等
計		億円 12,061	件 72,256	リーマンショック時：保証料承諾額 1,749億円 (H20.9～H21.8：1年間) 東日本大震災時：保証料承諾額 553億円 (H23.4～H24.3：1年間)

② 県内の新規求人数(季節調整値)の推移

業種別新規求人(一般+パート) 前年同月比の推移

(%)

区分	R4年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年 1月	2月	3月	4月
農・林・ 漁・鉱業	66.1	26.4	6.8	46.3	5.6	21.5	11.1	▲34.0	5.1	9.8	▲19.9	▲22.7
建設業	4.8	12.7	2.4	▲2.0	3.9	▲0.3	▲2.9	▲3.1	▲14.0	▲8.6	▲0.5	▲8.5
製造業	19.7	22.8	8.1	10.7	10.6	3.1	▲2.0	▲3.4	▲7.2	▲16.4	▲18.1	▲4.8
卸売・小売業	21.3	50.1	16.7	28.2	46.6	9.9	12.9	29.7	▲2.1	9.3	19.9	19.1
金融、保険 不動産業	8.5	34.5	15.1	▲4.0	31.5	17.0	7.7	14.5	▲9.1	11.1	6.3	▲13.7
運輸業	13.3	3.7	19.3	▲0.5	13.2	0.8	6.8	▲12.9	▲10.7	▲17.3	▲8.7	9.6
情報通信業	▲14.6	1.5	▲4.3	▲2.2	▲5.4	9.0	11.0	1.1	▲12.4	15.5	▲22.0	▲6.6
飲食、宿泊 サービス業他	18.9	22.7	8.3	29.4	16.9	11.5	19.1	8.3	4.0	7.0	5.0	▲5.1
県全体	16.2	14.7	9.2	13.9	14.3	5.6	5.5	3.2	▲1.8	▲1.4	▲1.5	0.4

(出典：静岡県内の最近の雇用情勢(静岡労働局))

③ 県内企業の倒産状況

業種別倒産件数(負債金額1千万円以上)の推移

(件)

区分	R4年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年 1月	2月	3月	4月
農・林・ 漁・鉱業	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0
建設業	2	3	0	1	3	6	3	1	1	4	5	2
製造業	7	4	1	2	3	4	4	6	4	6	4	3
卸売・小売業	3	4	1	1	3	6	1	4	4	4	8	4
金融、保険 不動産業	0	1	0	1	1	1	1	2	3	1	1	0
運輸業	2	0	0	1	0	1	1	1	3	2	0	0
情報通信業	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0
飲食、宿泊 サービス業他	4	3	3	3	4	4	3	4	3	2	10	2
県全体	18	15	5	9	16	22	14	18	19	19	30	11
うちコロナ 関連倒産	4	2	2	6	8	5	2	5	8	3	11	8

(出典：東京商工リサーチ静岡支店調べ)

II 静岡県主要経済指標の概況

需 要 面

1 個人消費

(1) 大型小売店販売額

3月 = 36,551百万円

*前年同月比： 0.3%増

(県内3百貨店、155スーパー合計)

<概況>

3月の大型小売店販売額は36,551百万円で、前年同月比 0.3%増となり、4か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、スーパー（前年同月比 0.9%減）が2か月連続で下回ったものの、百貨店（同 6.5%増）が3か月連続で前年実績を上回った。

商品別では、飲食料品（同 0.5%減）が2か月連続、家庭用品（同 10.8%減）が23か月連続で前年実績を下回ったものの、衣料品（同 2.4%増）が4か月連続、身の回り品（同 2.0%増）が3か月連続で前年実績を上回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は0.9%増と、9か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R4年8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月
販売額(百万円)	36,445	34,582	36,840	36,374	46,593	38,668	33,556	36,551
前年同月比(%)	1.6	0.7	0.7	▲0.7	2.6	2.7	0.1	0.3
うち百貨店(%)	18.0	12.4	▲0.6	▲3.6	▲2.2	2.6	7.9	6.5
スーパー(%)	▲0.4	▲1.0	0.9	▲0.1	3.7	2.7	▲1.2	▲0.9
(参考1)全国前年同月比(%)	3.8	4.1	4.1	2.4	3.6	5.3	4.7	3.2
うち百貨店(%)	25.4	19.9	10.9	4.3	4.0	14.8	20.3	9.9
スーパー(%)	▲1.4	▲0.5	1.7	1.6	3.5	2.2	▲0.0	0.7
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	2.1	2.9	2.8	0.8	3.0	3.2	0.9	0.9

(注1) 販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

(注2) 令和2年3月に調査事業者の見直しを行ったため、前年同月比の計算についてはリンク係数処理済み

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	R4年8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月
衣料品	14.9	10.2	3.3	▲6.8	3.6	4.0	8.5	2.4
うち紳士服・洋品	12.8	10.8	8.0	▲5.2	12.4	13.5	14.5	7.7
婦人・子供服・洋品	17.6	11.1	1.8	▲6.9	0.6	2.2	8.1	1.8
身の回り品	14.9	14.8	6.5	▲0.2	▲2.1	7.5	13.3	2.0
飲食料品	▲0.4	▲1.2	0.6	1.1	3.6	3.1	▲1.1	▲0.5
家庭用品	▲2.9	▲3.5	▲3.2	▲3.9	▲7.9	▲6.8	▲10.8	▲10.8
うち家庭用電気機械器具	▲5.1	▲5.7	▲3.0	▲11.1	▲8.7	▲10.8	▲16.5	▲13.5

(注) 店舗数調整済、全月速報値

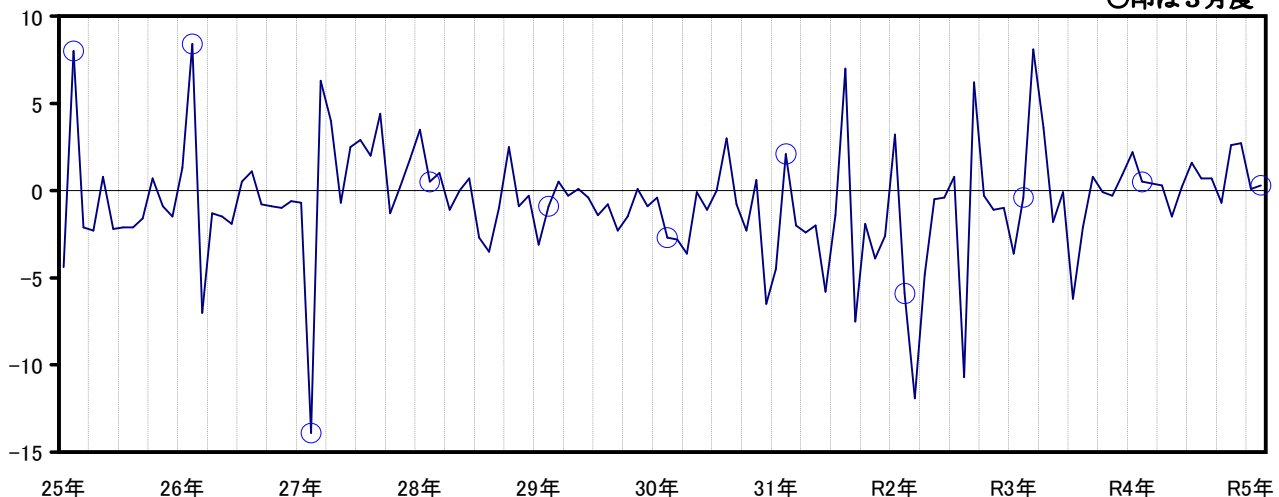
<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省

○印は3月度



(2) 専門量販店等販売額

3月 = 77,815百万円

*前年同月比：2.3%増

(県内92家電大型専門店、1,660コンビニエンスストア、584ドラッグストア、107ホームセンター合計)

<概況>

3月の専門量販店等販売額は77,815百万円で、前年同月比2.3%増となり、15か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、家電大型専門店(前年同月比4.3%減)が2か月ぶり、ホームセンター(同4.3%減)が3か月連続で前年実績を下回ったものの、コンビニエンスストア(同3.5%増)が5か月連続、ドラッグストア(同5.5%増)が23か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R4年8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月
販売額(百万円)	79,098	73,959	75,190	72,662	86,005	74,378	68,228	77,815
前年同月比(%)	4.6	4.2	3.3	3.8	6.2	2.8	4.8	2.3
うち 家電大型専門店(%)	▲3.5	6.4	6.6	1.2	7.6	▲1.2	1.4	▲4.3
コンビニエンスストア(%)	6.9	3.0	▲0.7	0.9	2.1	2.5	4.4	3.5
ドラッグストア(%)	6.5	6.9	7.7	10.2	10.9	6.5	7.9	5.5
ホームセンター(%)	▲0.9	▲2.3	1.2	▲3.2	4.0	▲3.0	▲0.7	▲4.3
(参考)全国前年同月比(%)	3.3	3.2	4.8	5.5	5.4	2.9	4.5	3.8

(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整

<資料>経済産業省

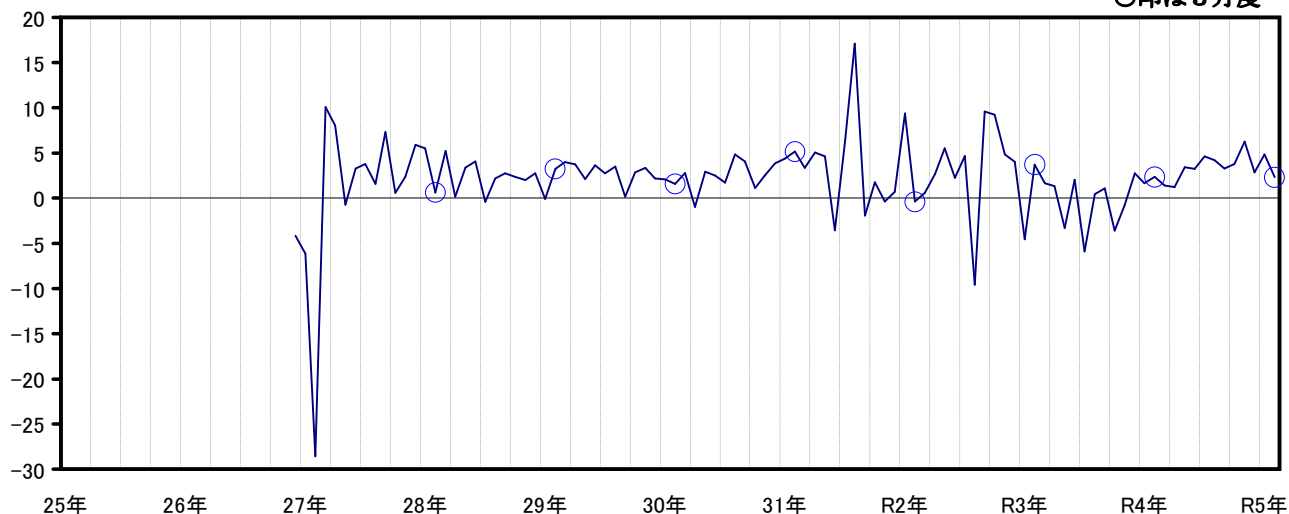
(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

<過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省

○印は3月度



(3) 自動車(新車)新規登録台数

3月 = 19,853 台

*前年同月比： 9.7%増

(乗用車、軽自動車合計)

<概況>

3月の自動車(新車)新規登録台数は19,853台(前年同月比 9.7%増)と、7か月連続で前年実績を上回った。

車種別にみると、乗用車(前年同月比 17.1%増)、軽自動車(同 2.2%増)がいずれも7か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R4年8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月
登録台数(台)	9,874	13,178	12,984	14,026	13,441	14,319	15,853	19,853
前年同月比(%)	▲10.3	28.0	40.5	16.1	10.4	14.1	18.2	9.7
(参考)全国前年同月比(%)	▲11.2	26.4	28.3	5.6	1.5	17.4	22.9	12.1

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

<車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

(単位：%)

	R4年8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月
全乗用車	▲10.3	28.0	40.5	16.1	10.4	14.1	18.2	9.7
乗用車	▲12.8	28.2	30.5	4.9	3.4	7.6	25.8	17.1
軽自動車	▲7.4	27.8	52.3	29.5	18.7	21.1	11.0	2.2

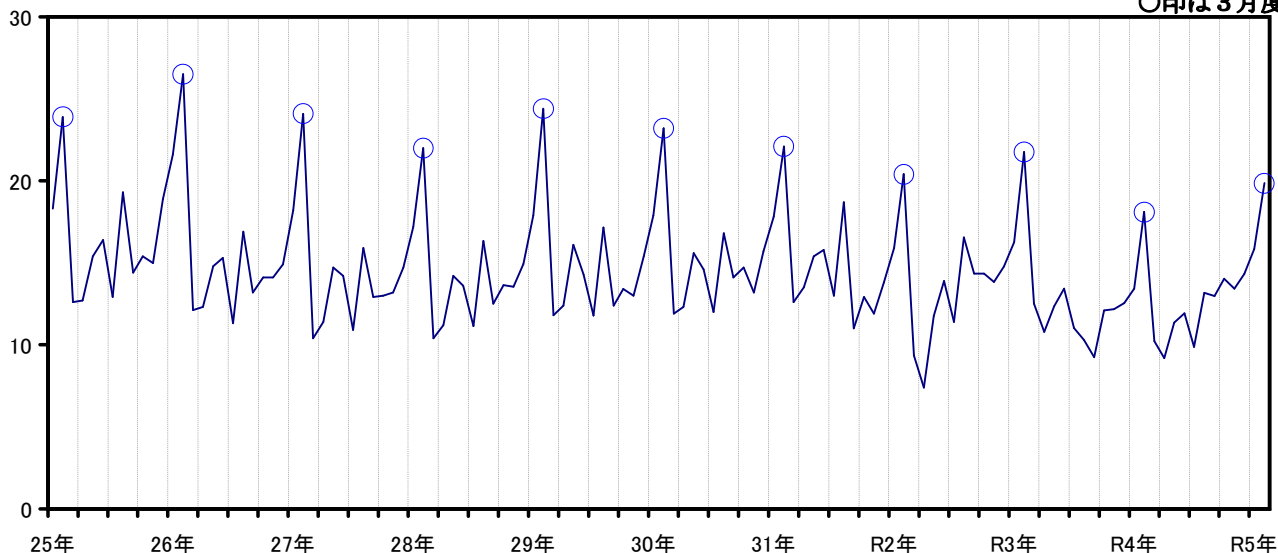
<資料>県税務課

<過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課

○印は3月度



(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

2 新設住宅着工戸数

3月 = 1,656 戸

*前年同月比： 4.3%減

<概況>

3月の新設住宅着工戸数は1,656戸で、前年同月比 4.3%減と、2か月連続で前年実績を下回った。

利用関係別にみると、貸家（前年同月比 29.2%増）が5か月連続で前年実績を上回ったものの、持家（同 15.5%減）、分譲住宅（同 29.2%減）がいずれも2か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R4年8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月
戸数（戸）	1,730	1,566	1,641	1,685	1,678	1,553	1,509	1,656
前年同月比（%）	▲ 3.5	▲ 4.6	▲ 21.1	▲ 13.1	▲ 2.0	19.4	▲ 2.7	▲ 4.3
うち持家（%）	▲ 2.1	▲ 17.2	▲ 22.8	▲ 21.5	▲ 15.4	0.7	▲ 8.8	▲ 15.5
貸家（%）	▲ 10.0	25.1	▲ 22.9	14.4	30.8	26.2	8.3	29.2
分譲住宅（%）	3.0	▲ 2.5	▲ 17.8	▲ 9.4	▲ 9.5	69.0	▲ 35.8	▲ 29.2
(参考)全国前年同月比（%）	4.6	1.0	▲ 1.8	▲ 1.4	▲ 1.7	6.6	▲ 0.3	▲ 3.2

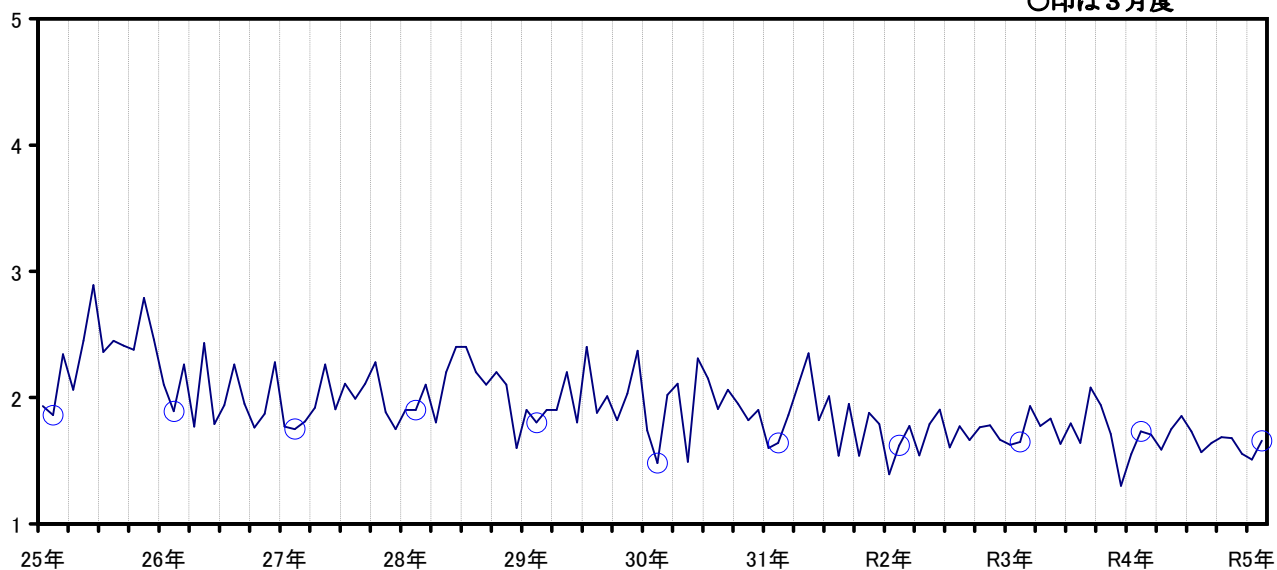
<資料>県住まいづくり課

<過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課

○印は3月度



3 公共工事請負金額

3月 = 30,045百万円

*前年同月比：15.6%増

(建設保証会社保証実績)

<概況>

3月の公共工事の請負金額（工事場所ベース）は30,045百万円で、前年同月比15.6%増となり、2か月連続で前年実績を上回った。また、取扱い件数（工事場所ベース）は627件で、前年同月比30.1%増となり、3か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R4年8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月
金額（百万円）	36,867	36,131	24,862	12,862	12,675	10,855	19,256	30,045
前年同月比（%）	21.2	▲20.9	▲16.2	▲18.6	▲32.3	▲21.8	62.3	15.6
年度累計前年同月比（%）	▲10.5	▲12.4	▲12.8	▲13.1	▲14.2	▲14.6	▲11.9	▲10.0
件数（件）	807	1,044	703	518	421	301	316	627
前年同月比（%）	4.0	▲3.0	▲3.8	▲21.6	▲4.5	27.5	52.7	30.1
年度累計前年同月比（%）	▲9.0	▲7.6	▲7.1	▲8.7	▲8.4	▲7.2	▲5.4	▲3.1

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

	R4年8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月
国	▲21.4	▲34.4	115.5	▲42.9	28.4	▲17.1	9.1	▲39.5
独立行政法人等	312.4	▲94.9	63.4	▲41.6	▲59.8	▲31.8	618.7	43.8
県	12.2	1.4	6.9	▲7.3	▲18.6	75.2	36.6	27.7
市町	0.3	10.1	▲9.5	▲7.2	▲26.2	6.6	89.7	56.7
地方公社	118.2	▲46.3	▲6.8	-	▲75.0	5.1	-	-
その他	231.5	109.3	-	▲93.4	▲39.0	▲84.3	961.5	86.0

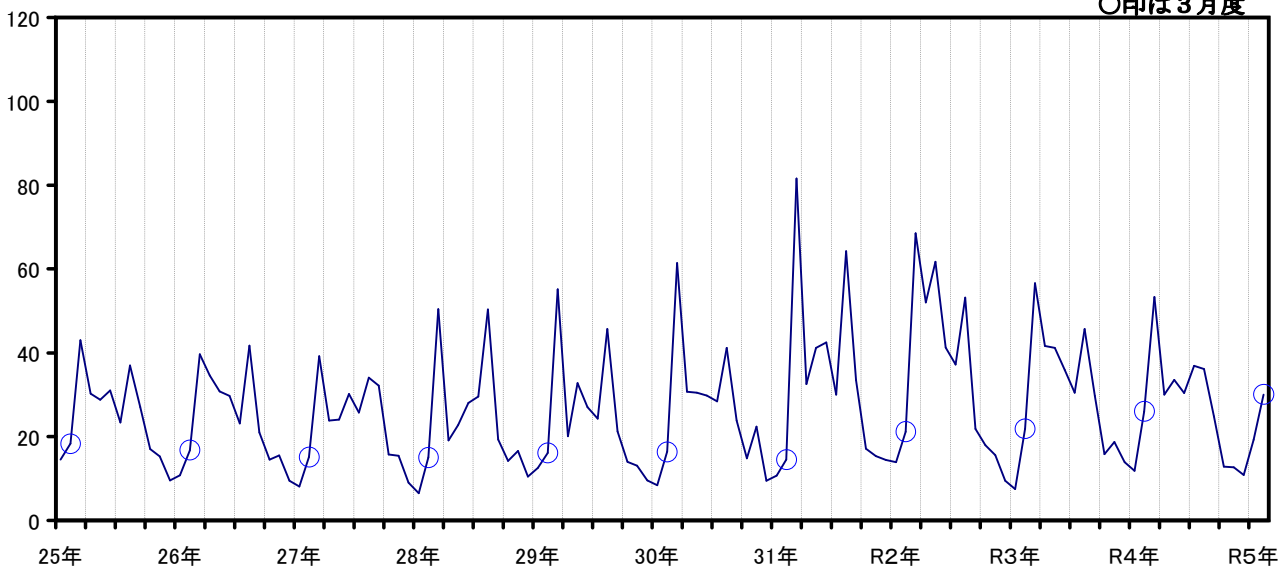
<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

○印は3月度



4 設備投資

<概況>

令和4年度の設備投資（含む土地投資）、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。

令和5年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業（前年度比 20.5%増）、非製造業（同 6.0%増）、全産業（同 14.4%増）においていずれも増加する計画となっている。また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業（前年度比 8.9%増）、非製造業（同 6.5%増）、全産業（同 8.4%増）においていずれも増加する計画となっている。

3月の着工建築物床面積（非居住用）は107,220㎡で、前年同月比 10.3%増となり、2か月ぶりに前年実績を上回った。

<企業短期経済観測調査結果>（前年度比%） 設備投資（含む土地投資）

		R4年度 (計画)	R5年度 (計画)
全産業	県	(▲4.6) 17.9	14.4
	全国	(▲3.2) 11.4	3.9
製造業	県	(▲6.8) 33.9	20.5
	全国	(▲3.8) 15.7	6.3
非製造業	県	(▲1.4) 1.1	6.0
	全国	(▲2.8) 8.9	2.4

（ ）内は前回調査比修正率

ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）

		R4年度 (計画)	R5年度 (計画)
全産業	県	(▲1.8) 17.8	8.4
	全国	(▲2.9) 11.0	4.4
製造業	県	(▲1.3) 23.8	8.9
	全国	(▲2.0) 13.2	4.6
非製造業	県	(▲3.5) 0.6	6.5
	全国	(▲3.8) 8.6	4.3

（注1）平成29年3月調査分から半期計数の掲載を取り止め、年度計数のみを掲載

（注2）平成29年3月調査分から「ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）」を追加

<資料>日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和5年3月調査)」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」(令和5年3月調査)」

<最近の動き>

	R4年8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	85,171	78,834	172,555	144,806	166,101	118,993	65,360	107,220
前年同月比（%）	▲37.3	▲28.8	33.2	34.9	32.2	26.1	▲1.0	10.3
(参考) 全国前年同月比（%）	27.0	▲3.1	▲32.4	▲6.0	▲28.6	20.4	▲3.8	▲22.7

（注3）着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

<参考 県内企業の業況判断D. I. >

		R4年12月	R5年3月	R5年6月 (予測)
全産業	全産業	▲2	▲1	▲3
	製造業	▲10	▲12	▲11
	非製造業	5	8	5
(参考) 全国・全産業		6	5	2

（注4）業況判断D. I. : 「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和5年3月調査)」

5 輸出

3月 = 235,421百万円

*前年同月比： 3.0%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

3月の清水税関支署管内の輸出総額は235,421百万円で、前年同月比 3.0%増となり、10か月連続で前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、自動車の部分品（前年同月比 18.4%減）が9か月連続で前年実績を下回ったものの、原動機（同 6.4%増）が6か月連続、エアコン（同 37.9%増）、科学光学機器（同 19.4%増）がいずれも10か月連続、自動車（同 109.4%増）が3か月連続、二輪自動車類（同 12.2%増）が17か月連続で前年実績を上回った。

地域別にみると、アジア向け（同 13.5%減）が4か月連続、米国向け（同 0.7%減）が10か月ぶりに前年実績を下回ったものの、EU向け（同 28.9%増）が7か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R4年8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月
輸出総額(百万円)	209,193	214,766	248,526	244,721	248,239	179,143	210,327	235,421
前年同月比(%)	8.9	1.0	28.7	27.1	25.2	13.4	13.6	3.0

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R4年8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月
原動機	69.1	▲ 4.7	93.4	52.9	77.0	27.3	40.6	6.4
エアコン	85.1	62.0	25.7	70.3	70.2	111.7	123.2	37.9
自動車	7.7	43.3	10.3	22.7	▲ 13.3	91.1	51.3	109.4
自動車の部分品	▲ 4.5	▲ 32.9	▲ 0.9	▲ 18.5	▲ 11.5	▲ 11.1	▲ 20.4	▲ 18.4
二輪自動車類	35.0	67.9	113.6	121.3	92.1	17.9	23.6	12.2
科学光学機器	40.6	33.5	29.2	24.4	18.1	2.3	38.9	19.4

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R4年8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月
アジア	0.1	▲ 5.0	22.3	5.4	▲ 2.6	▲ 5.4	▲ 13.1	▲ 13.5
米国	34.1	4.7	46.1	27.4	42.7	22.4	40.4	▲ 0.7
EU	▲ 3.3	15.1	28.6	79.7	64.6	33.4	40.5	28.9

<資料>清水税関支署

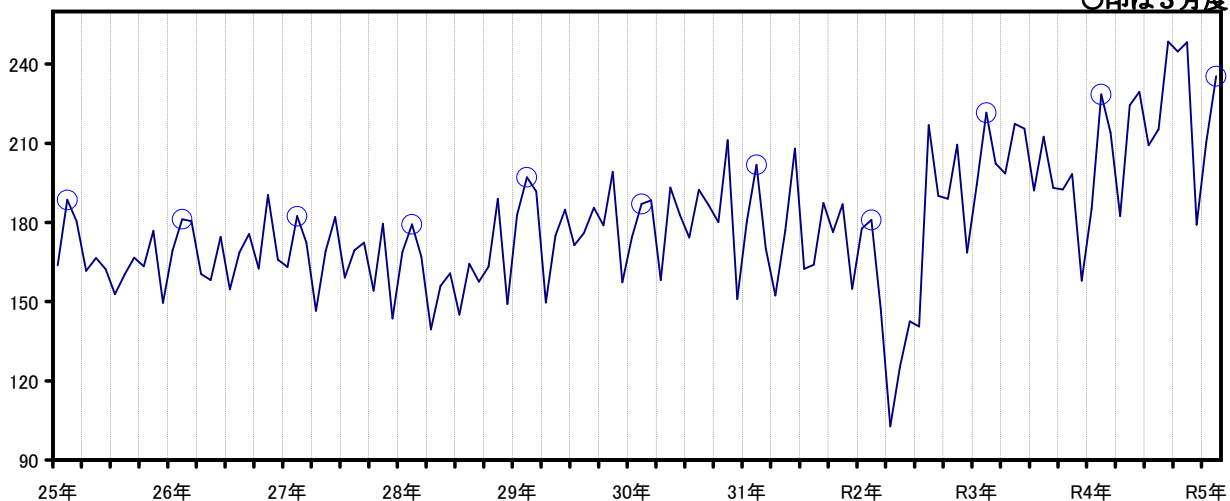
(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津)の各出張所及び下田監視所含む、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。
なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署

○印は3月度



6 輸入

3 月 = 133,039百万円

*前年同月比： 20.1%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

3月の清水税関支署管内の輸入総額は133,039百万円で、前年同月比 20.1%増となり、26か月連続で前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、木材（前年同月比 10.5%減）が4か月連続、原動機（同 53.2%減）が3か月連続、自動車の部分品（同 3.9%減）が2か月連続で前年実績を下回ったものの、魚介類及び同調製品（同 10.9%増）が12か月連続、パルプ（同 7.7%増）が2か月ぶり、紙類及び同製品（同 58.0%増）が6か月連続で前年実績を上回った。

地域別では、EUから（同 30.6%減）が10か月ぶりに前年実績を下回ったものの、アジアから（同 32.5%増）が12か月連続、米国から（同 27.5%増）が11か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R4年8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月
輸入総額(百万円)	128,131	132,849	141,939	139,957	148,260	136,519	133,094	133,039
前年同月比(%)	41.4	38.0	56.0	53.5	41.4	31.1	36.3	20.1

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R4年8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月
魚介類及び同調製品	27.2	41.9	63.8	64.0	17.1	41.4	3.6	10.9
木 材	43.5	▲ 26.7	15.0	35.4	▲ 40.6	▲ 14.3	▲ 49.1	▲ 10.5
パ ル プ	92.9	32.2	40.9	6.2	38.2	25.0	▲ 1.5	7.7
紙 類 及 び 同 製 品	5.0	▲ 16.3	61.6	42.3	30.0	9.4	15.7	58.0
原 動 機	63.1	12.4	54.1	10.1	11.0	▲ 58.1	▲ 29.4	▲ 53.2
自 動 車 の 部 分 品	▲ 20.1	▲ 0.9	33.5	27.7	10.1	24.6	▲ 6.8	▲ 3.9

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R4年8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月
ア ジ ア	36.6	60.6	52.0	44.9	24.3	55.1	3.4	32.5
米 国	20.5	26.5	29.2	33.9	266.4	39.8	370.6	27.5
E U	44.1	11.7	21.0	27.3	36.1	30.9	3.9	▲ 30.6

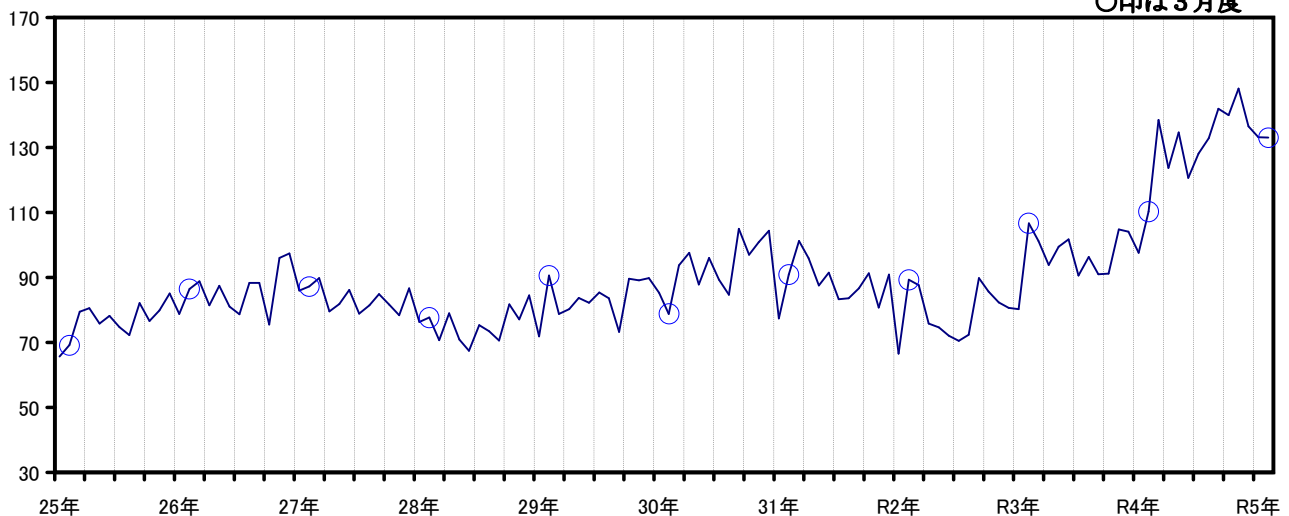
<資料>清水税関支署

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署

○印は3月度



生産面

1 生産

(1) 鉱工業生産指数

3月 = 93.2

(平成27年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 5.1%増

*前年同月比(原指数) : 4.6%増

<概況>

3月の鉱工業生産指数(総合)は93.2(季節調整済指数)で、前月比は5.1%増と、3か月ぶりに増加した。また、前年同月比(原指数)は4.6%増と、2か月ぶりに前年水準を上回った。業種別にみると、電気機械(前年同月比19.6%減)が4か月連続、化学(同5.3%減)が2ヶ月ぶり、パルプ・紙・紙加工品(同3.4%減)が5か月連続で前年水準を下回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同35.3%増)が8か月連続、輸送機械(同11.5%増)が2か月ぶり、食料品・たばこ(同2.6%増)が2か月連続で前年水準を上回った。

<最近の動き>

	R4年8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月
指数	96.6	96.3	93.9	92.1	92.5	89.9	88.7	93.2
前月比(%)	4.3	▲0.3	▲2.5	▲1.9	0.4	▲2.8	▲1.3	5.1
前年同月比(%)	11.1	17.5	8.9	4.5	5.2	6.4	▲0.5	4.6
(参考)全国前年同月比(%)	5.8	9.6	▲3.2	0.2	0.3	▲5.3	4.6	1.1

(注)平成27年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R4年8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月
はん用・生産用・業務用機械工業	18.8	2.3	11.5	19.5	27.6	4.0	10.9	35.3
電気機械工業	11.8	22.2	3.5	0.4	▲4.6	▲14.4	▲9.1	▲19.6
輸送機械工業	20.1	47.1	16.7	7.3	5.3	34.9	▲3.7	11.5
化学工業	5.2	0.6	4.0	▲2.4	4.5	▲1.3	2.3	▲5.3
パルプ・紙・紙加工品工業	2.6	1.2	1.8	▲2.6	▲2.4	▲5.2	▲3.4	▲3.4
食料品・たばこ工業	3.8	8.5	5.5	3.5	1.0	▲3.5	1.6	2.6

(注)平成27年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

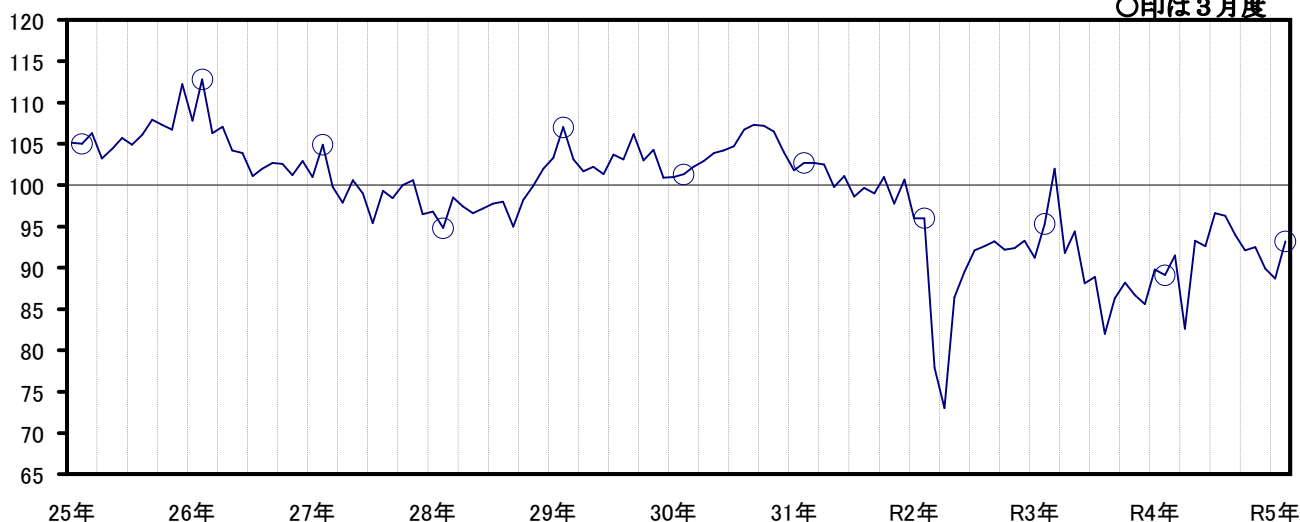
<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、平成27年=100)

<資料>県統計調査課

○印は3月度



(2) 鋳工業在庫指数

3月 = 103.9

(平成27年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 1.1%増

*前年同月比(原指数) : 0.8%増

<概況>

3月の鋳工業在庫指数(総合)は103.9(季節調整済指数)で、前月比は1.1%増と、2か月ぶりに増加した。また、前年同月比(原指数)は0.8%増と、2か月ぶりに前年水準を上回った。

なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今期は「在庫積み増し局面(景気拡大期)」に該当する。

業種別にみると、化学(前年同月比 25.5%減)が5か月連続で前年水準を下回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同 10.8%増)が3か月連続、電気機械(同 9.0%増)、輸送機械(同 19.8%増)がいずれも10か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同 3.3%増)が22か月ぶり、食料品・たばこ(同 24.5%増)が5か月連続で前年水準を上回った。

<最近の動き>

	R4年8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月
指数	109.2	109.1	109.8	109.6	104.8	106.0	102.8	103.9
前月比(%)	0.6	▲0.1	0.6	▲0.2	▲4.4	1.1	▲3.0	1.1
前年同月比(%)	7.8	1.6	5.6	5.8	4.0	5.8	▲1.3	0.8
(参考)全国前年同月比(%)	5.9	6.1	▲0.5	0.3	▲0.4	▲1.0	1.3	0.2

(注)平成27年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R4年8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲1.7	▲2.3	0.4	2.0	▲2.3	4.7	5.7	10.8
電気機械工業	16.5	23.3	26.3	29.0	29.0	18.0	17.3	9.0
輸送機械工業	53.5	55.4	36.2	31.9	25.1	63.1	2.7	19.8
化学工業	3.1	▲13.1	5.3	▲4.5	▲1.9	▲9.7	▲25.3	▲25.5
パルプ・紙・紙加工品工業	▲3.4	▲3.0	▲3.2	▲4.8	▲4.0	▲3.5	▲0.9	3.3
食料品・たばこ工業	2.4	1.1	▲0.1	17.9	10.4	25.0	27.4	24.5

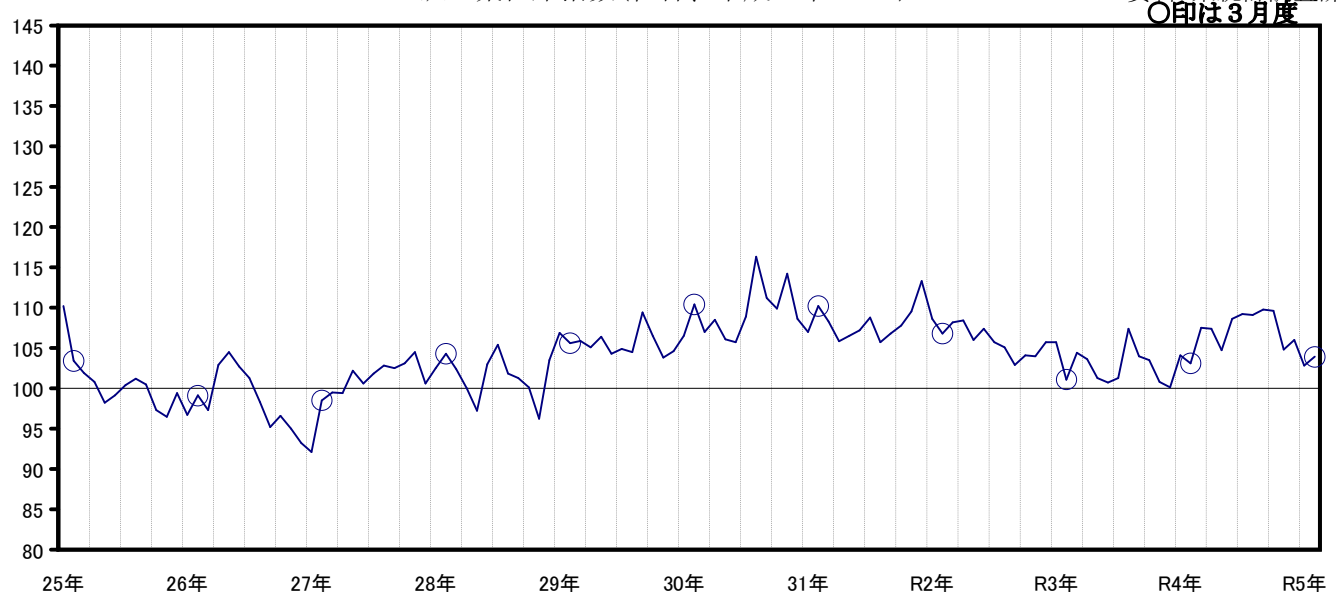
(注)平成27年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



雇 用 面

1 雇 用

(1) 有効求人倍率

3月 = 1.23倍

*前月比(季節調整値) : 0.04ポイント減

(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)

<概況>

3月の有効求人倍率(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)は1.23倍となり、前月を0.04ポイント下回った。26か月連続で1倍台となった。また、全国値を0.09ポイント下回った。新規求人(学卒、パートタイムを除く)(前年同月比3.0%減)は3か月連続で前年実績を下回った。

産業別にみると、建設業(前年同月比0.3%増)が6か月ぶり、卸売業・小売業(同23.6%増)が2か月連続で前年実績を上回ったものの、製造業(同19.0%減)が5か月連続、情報通信業(同17.3%減)が2か月ぶり、運輸業・郵便業(同8.6%減)が4か月連続、医療・福祉(同5.4%減)が2か月連続、サービス業(他に分類されないもの)(同2.1%減)が8か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

(単位:倍)

	R4年8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月
県	1.30	1.32	1.32	1.34	1.32	1.29	1.27	1.23
全 国	1.31	1.32	1.34	1.35	1.36	1.35	1.34	1.32

(注)季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<産業別新規求人前年同月比の推移>

(単位:%)

	R4年8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月
建設業	▲0.1	4.7	▲2.1	▲1.9	▲1.0	▲14.0	▲9.6	0.3
製造業	9.6	8.9	4.9	▲0.6	▲4.8	▲5.1	▲13.7	▲19.0
情報通信業	▲10.5	▲1.3	12.9	10.9	5.8	▲16.7	27.2	▲17.3
運輸業・郵便業	1.0	4.5	▲1.2	20.5	▲16.7	▲8.2	▲15.3	▲8.6
卸売業・小売業	24.5	55.2	9.8	17.1	36.1	▲5.4	7.1	23.6
医療・福祉	5.9	8.8	6.2	0.4	▲3.6	1.4	▲2.5	▲5.4
サービス業(他に分類されないもの)	15.4	6.6	15.3	18.0	9.9	5.2	0.8	▲2.1
合 計	10.6	12.7	6.3	7.1	2.7	▲3.7	▲5.3	▲3.0

(注)学卒、パートタイムを除く

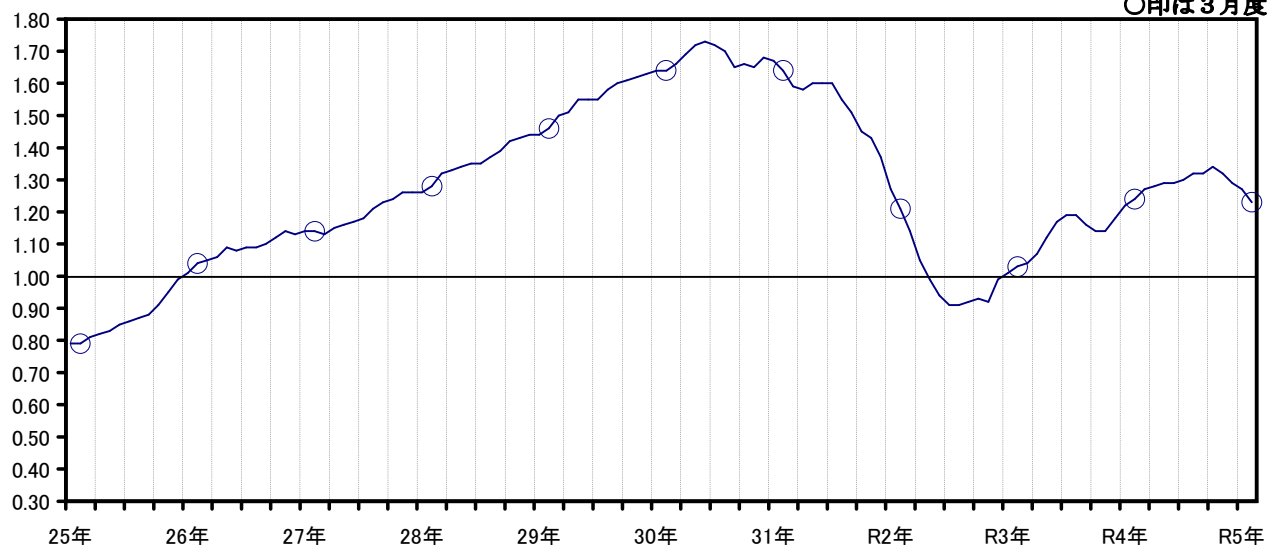
<資料>厚生労働省

<過去10年間の推移>

有効求人倍率(学卒を除き、パートタイムを含む)(倍)

<資料>厚生労働省

○印は3月度



(2) 雇用保険受給者実人員

3月 = 10,303人

*前月比: 1.1%増

*前年同月比: 2.7%減

<概況>

3月の雇用保険受給者実人員は10,303人で、前月比は1.1%増と、7か月ぶりに前月を上回った。また、前年同月比は2.7%減と22か月連続で前年実績を下回った。

完全失業率(全国)は2.8%と前月から0.2ポイント悪化した。

静岡県(令和4年10~12月)の完全失業率は2.0%で、前期(令和4年7~9月)から0.3ポイント改善した。

<最近の動き>

	R4年8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月
実人員(人)	12,557	11,986	11,260	10,827	10,554	10,529	10,187	10,303
前月比(%)	5.1	▲4.5	▲6.1	▲3.8	▲2.5	▲0.2	▲3.2	1.1
前年同月比(%)	▲4.2	▲5.9	▲8.2	▲5.7	▲5.7	▲4.4	▲3.4	▲2.7
(参考)全国前年同月比(%)	▲4.4	▲5.5	▲4.5	▲5.8	▲5.3	▲2.9	▲1.3	▲1.0

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	R4年8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月
完全失業率(全国)(%)	2.5	2.6	2.6	2.5	2.5	2.4	2.6	2.8

(注)季節調整値

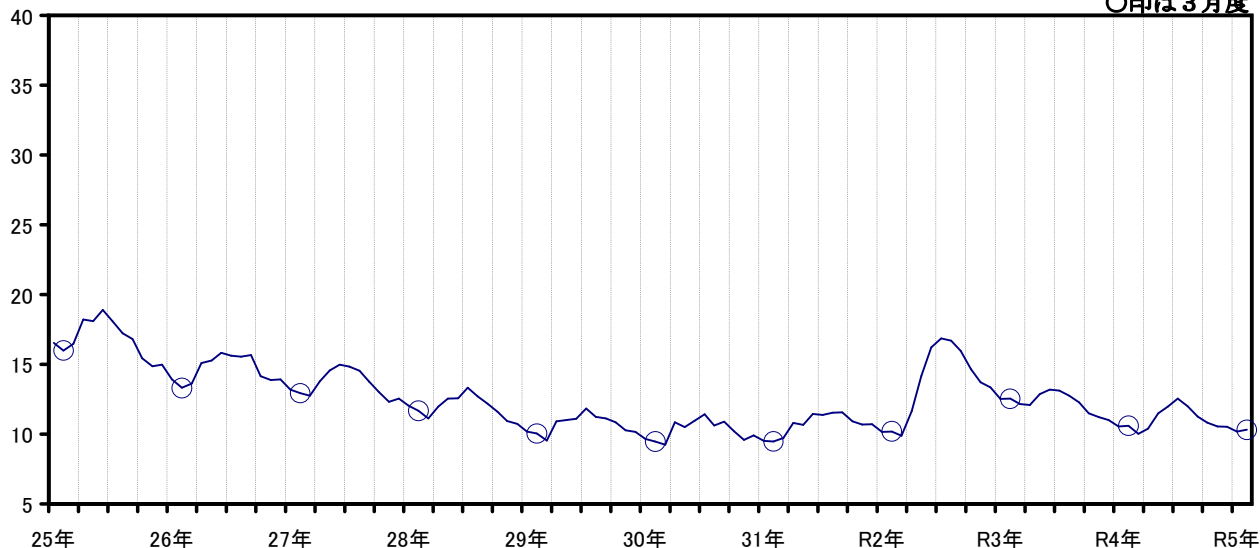
<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省

○印は3月度



(3) 所定外労働時間指数

2月 = 115.1

*前月比(季節調整済指数): 1.5%減

(令和2年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) *前年同月比(原指数) : 0.8%増

<概況>

2月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は115.1(季節調整済指数)で、2か月連続で前月を下回った。また、前年同月比(原指数)は0.8%増と、15か月連続で前年実績を上回った。

業種別にみると、情報通信業(前年同月比 32.7%増)が2か月ぶり、医療・福祉(同 1.3%増)が14か月連続で前年実績を上回ったものの、建設業(同 0.7%減)、卸売業・小売業(同 12.1%減)、その他のサービス業(同 15.8%減)がいずれも2か月連続、製造業(同 4.4%減)が15か月ぶり、運輸業・郵便業(同 6.6%減)が11か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R4年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月
指数	117.6	115.1	120.1	119.9	117.1	117.9	116.9	115.1
前月比(%)	▲1.2	▲2.1	4.3	▲0.2	▲2.3	0.7	▲0.8	▲1.5
前年同月比(%)	4.8	6.8	21.1	16.8	13.8	13.4	1.7	0.8
(参考)全国前年同月比(%)	1.4	3.5	7.8	7.6	4.0	2.2	0.0	0.8

*令和2年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数 <資料>県統計調査課

<県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R4年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月
建設業	▲52.4	▲22.9	3.1	▲30.6	▲37.3	5.2	▲30.3	▲0.7
製造業	0.6	6.0	21.6	21.7	12.3	6.8	2.1	▲4.4
情報通信業	13.5	▲11.1	4.7	2.1	24.7	14.8	▲1.8	32.7
運輸業・郵便業	▲9.9	▲14.1	▲0.5	▲9.6	▲15.7	▲14.0	▲7.7	▲6.6
卸売業・小売業	1.6	8.1	12.1	19.2	1.6	5.2	▲19.8	▲12.1
医療・福祉	10.2	21.7	16.5	11.8	27.6	34.4	17.8	1.3
その他のサービス業	35.8	34.6	47.1	60.5	60.8	64.3	▲12.9	▲15.8
調査産業計	4.8	6.8	21.1	16.8	13.8	13.4	1.7	0.8

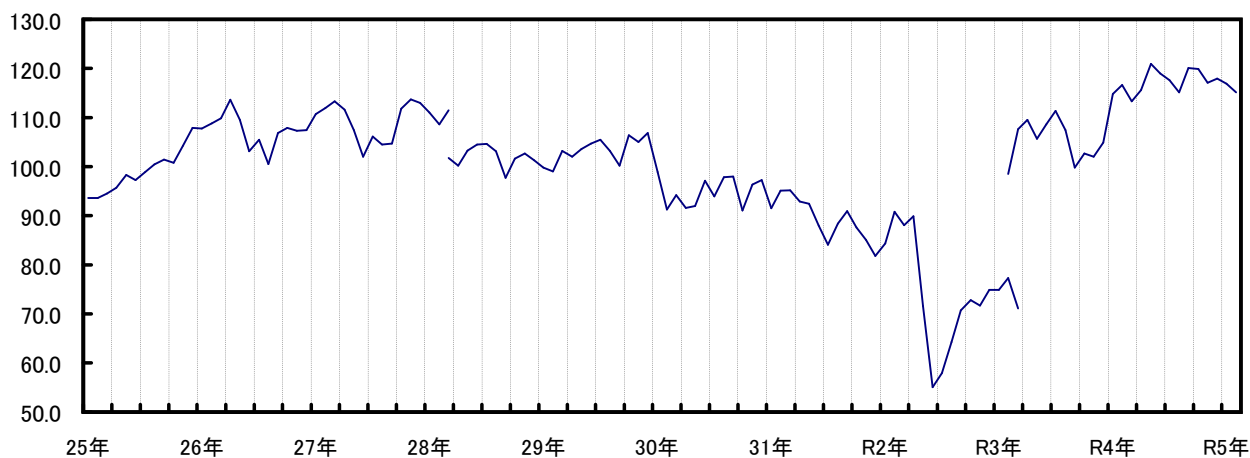
*令和2年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、令和2年=100)

<資料>県統計調査課



そ の 他

1 物 価

国内企業物価指数

4 月 = 119.8

(令和2年=100)

*前月比: 0.2%上昇

*前年同月比: 5.8%上昇

<概況>

4月の国内企業物価指数は119.8となり、前月比は0.2%の上昇となった。また、前年同月比は5.8%の上昇となった。

	R 4年9月	10月	11月	12月	R 5年1月	2月	3月	4月
国内企業物価指数	116.9	118.1	119.1	119.9	119.9	119.5	119.6	119.8
前月比 (%)	1.0	1.0	0.8	0.7	0.0	▲ 0.3	0.1	0.2
前年同月比 (%)	10.3	9.7	9.9	10.6	9.6	8.3	7.4	5.8

<資料>日本銀行

2 金 融

(1) 県内金融機関貸出残高

2 月 = 143,026億円

(銀行、信用金庫)

*前月比: 同水準

*前年同月比: 0.4%増

<概況>

2月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は143,026億円で、前月比とは同水準であった。また、前年同月比は0.4%の増加となった。

	7月	R 4年8月	9月	10月	11月	12月	R 5年1月	2月
貸出残高(億円)	142,647	142,664	143,216	142,823	143,165	143,802	143,040	143,026
前月比 (%)	0.2	0.0	0.4	▲ 0.3	0.2	0.4	▲ 0.5	▲ 0.0
前年同月比 (%)	▲ 0.6	▲ 0.3	0.0	0.2	0.4	0.2	0.3	0.4

<資料>日本銀行静岡支店

(2) 貸出約定金利

2 月 = 1.296%

(県内地銀4行総平均)

*前月差: 0.002ポイント減

*前年同月差: 0.068ポイント減

<概況>

2月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は1.296%で、前月から0.002ポイントのマイナスとなった。なお、前年同月差は0.068ポイントのマイナスとなった。

	R 5年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R 5年1月	2月
貸出約定金利 (%)	1.329	1.322	1.319	1.316	1.308	1.303	1.298	1.296
前月差(ポイント)	▲ 0.005	▲ 0.007	▲ 0.003	▲ 0.003	▲ 0.008	▲ 0.005	▲ 0.005	▲ 0.002
前年同月差(ポイント)	▲ 0.077	▲ 0.081	▲ 0.077	▲ 0.078	▲ 0.076	▲ 0.070	▲ 0.072	▲ 0.068

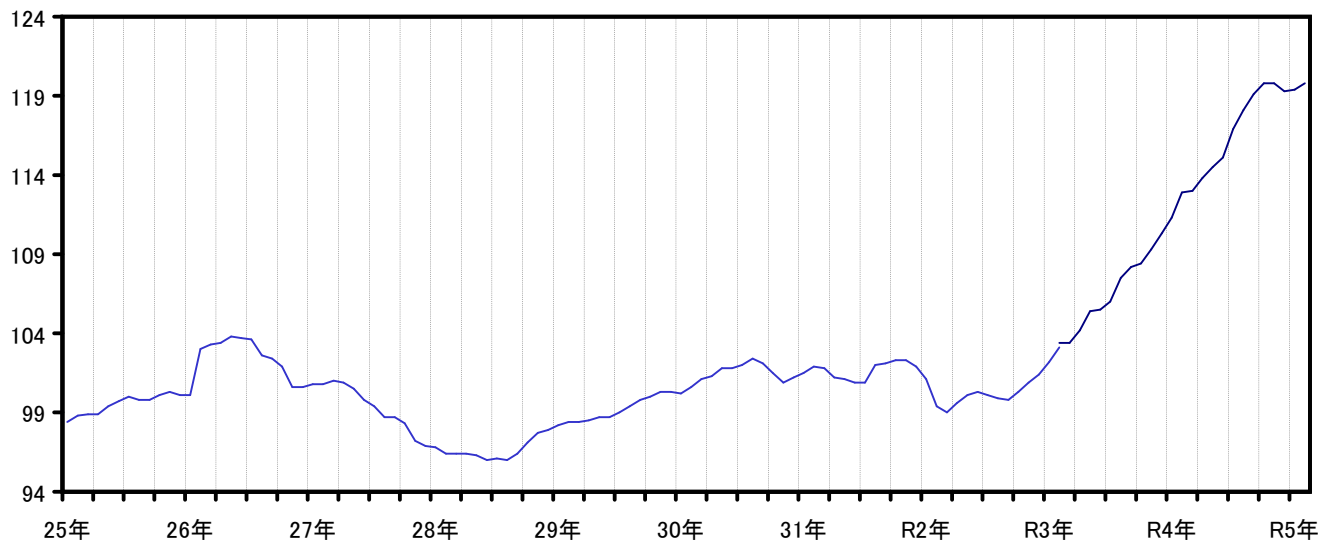
(注) 貸出約定金利は、金融庁報告ベースに過去に遡及して変更

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

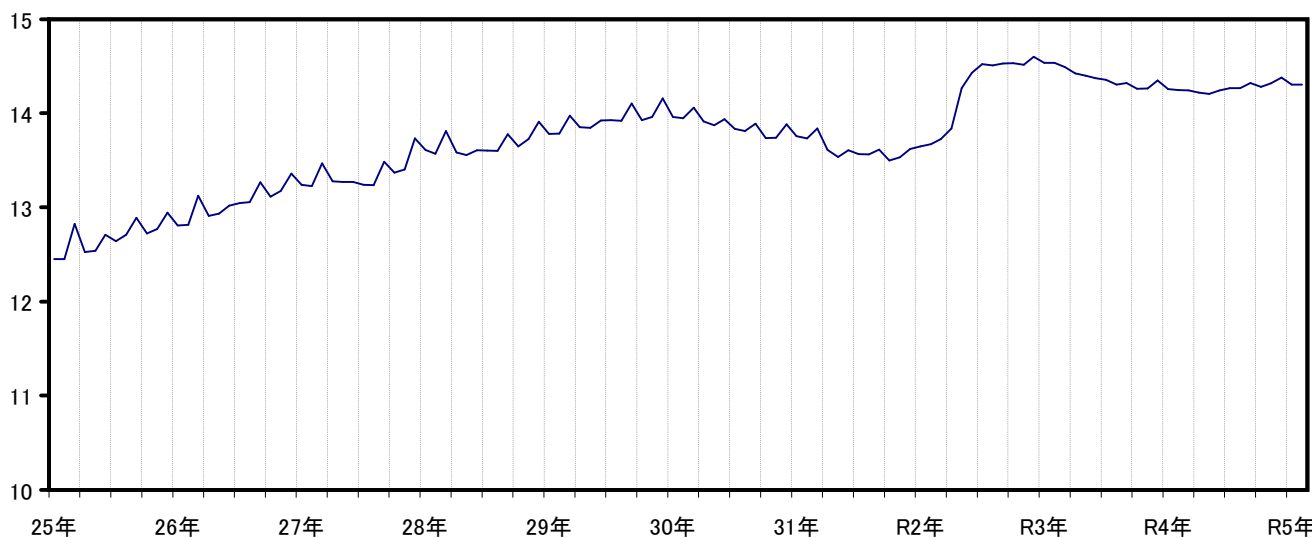
国内企業物価指数(令和2年=100)

<資料>日本銀行



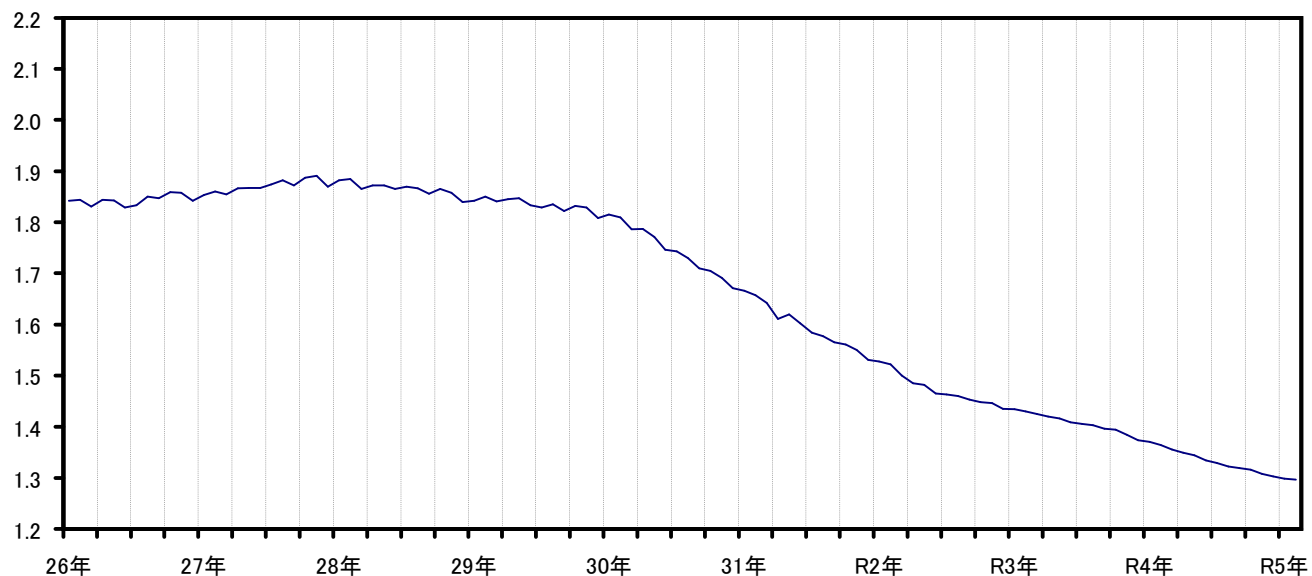
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



(3) 信用保証協会保証金額**3月 = 35,976百万円**

*前年同月比： 35.2%増

<概況>

3月の保証承諾は、金額は35,976百万円（前年同月比 35.2%増）、件数は2,457件（同 2.8%増）と、いずれも前年実績を上回った。

	R4年8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月
保証金額(百万円)	25,425	26,742	17,816	23,928	32,259	17,702	21,917	35,976
前年同月比(%)	62.9	62.2	20.1	30.7	32.2	34.5	27.7	35.2
保証件数(件)	1,959	2,142	1,510	1,831	2,328	1,393	1,682	2,457
前年同月比(%)	19.7	19.3	▲0.4	9.2	3.9	8.9	4.4	2.8

<資料>県信用保証協会

(4) 円相場**4月 = 133.33円/ドル**

*前月差： 0.52円高

(東京・銀行間直物中心・平均)

*前年同月差： 7.29円安

<概況>

4月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は133.33円で、前月と比べて0.52円の円高となり、3ヶ月ぶりに円高となった。

<最近の動き>

	R4年9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月	4月
平均相場(円)	143.14	147.01	142.44	134.93	130.20	132.68	133.85	133.33
前月差(円)	7.90	3.87	▲4.57	▲7.51	▲4.73	2.48	1.17	▲0.52
前年同月差(円)	32.97	33.91	28.31	21.06	15.37	17.48	15.34	7.29

▲…円高

(注)東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

3 企業経営**企業倒産件数****4月 = 11件**

*前年同月比： 42.1%減

<概況>

4月の負債総額 1,000万円以上の企業倒産は、件数は11件（前年同月比 42.1%減）、負債総額は627百万円（同 89.4%減）と、いずれも前年実績を下回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が7件と全体の63.6%を占め、9か月連続で50%以上となっている。

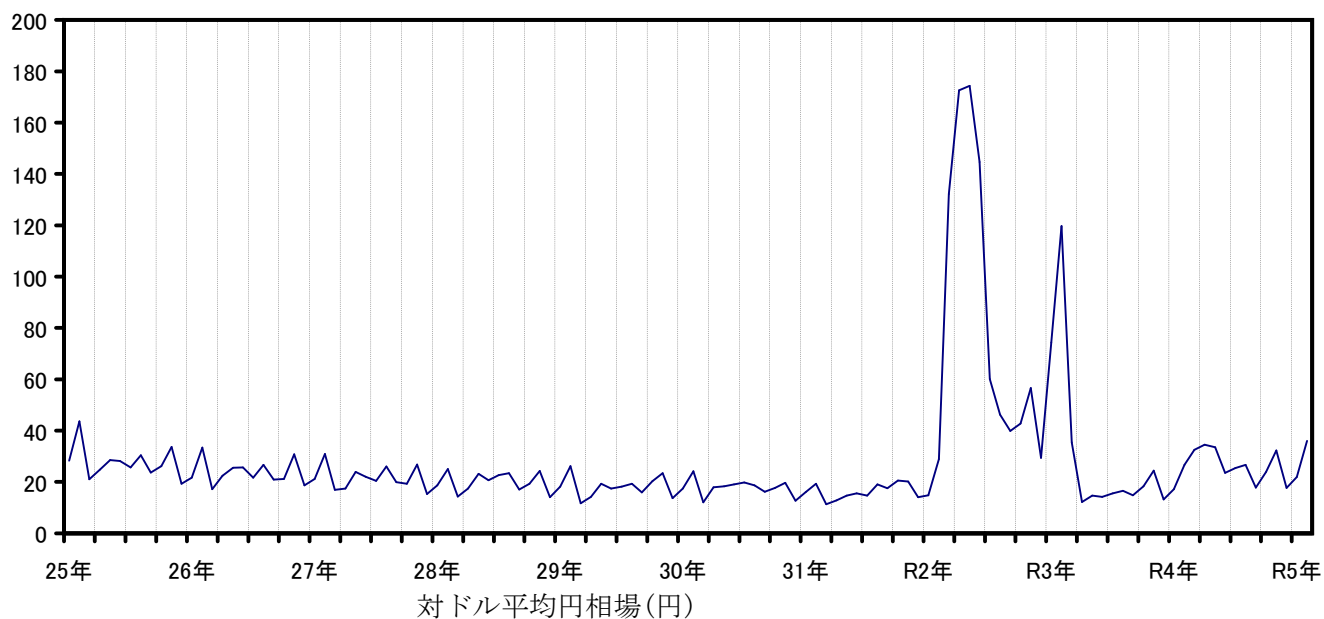
	R4年9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月	4月
倒産件数(件)	16	22	14	18	19	19	30	11
前年同月比(%)	6.6	10.0	▲26.3	38.4	137.5	171.4	87.5	▲42.1
うち不況型倒産件数(件)	14	19	11	17	14	19	22	7
負債総額(百万円)	1,240	2,613	14,158	2,810	2,015	1,355	3,669	627
前年同月比(%)	19.5	▲88.4	1,088.7	119.8	12.0	81.6	143.4	▲89.4

<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社

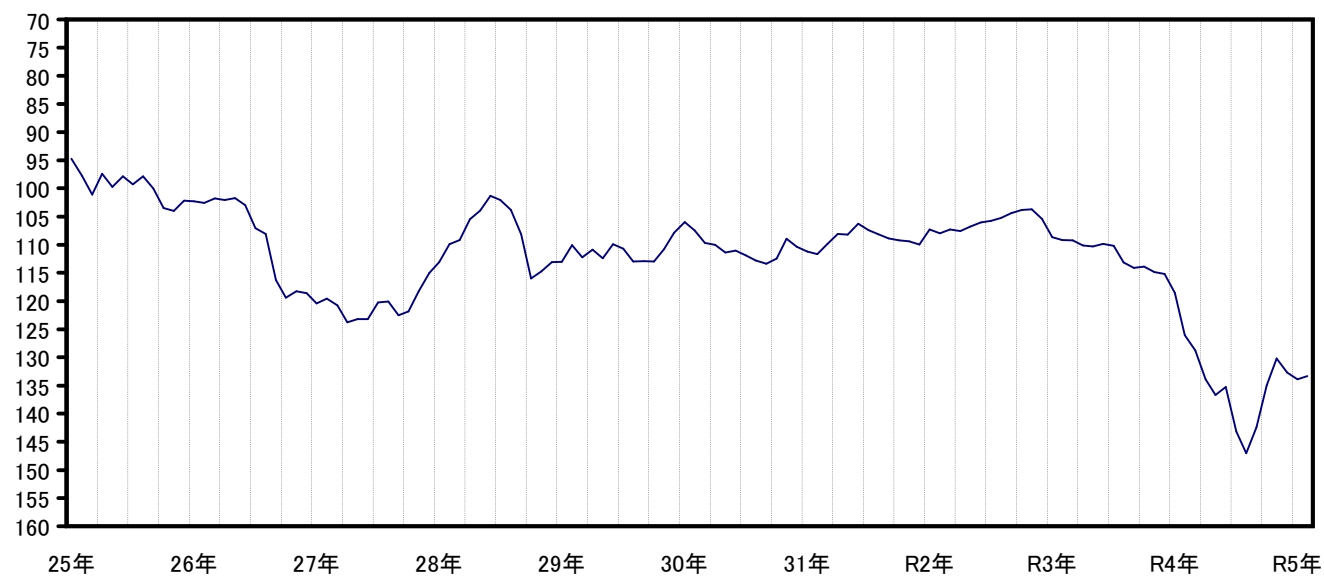
<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会

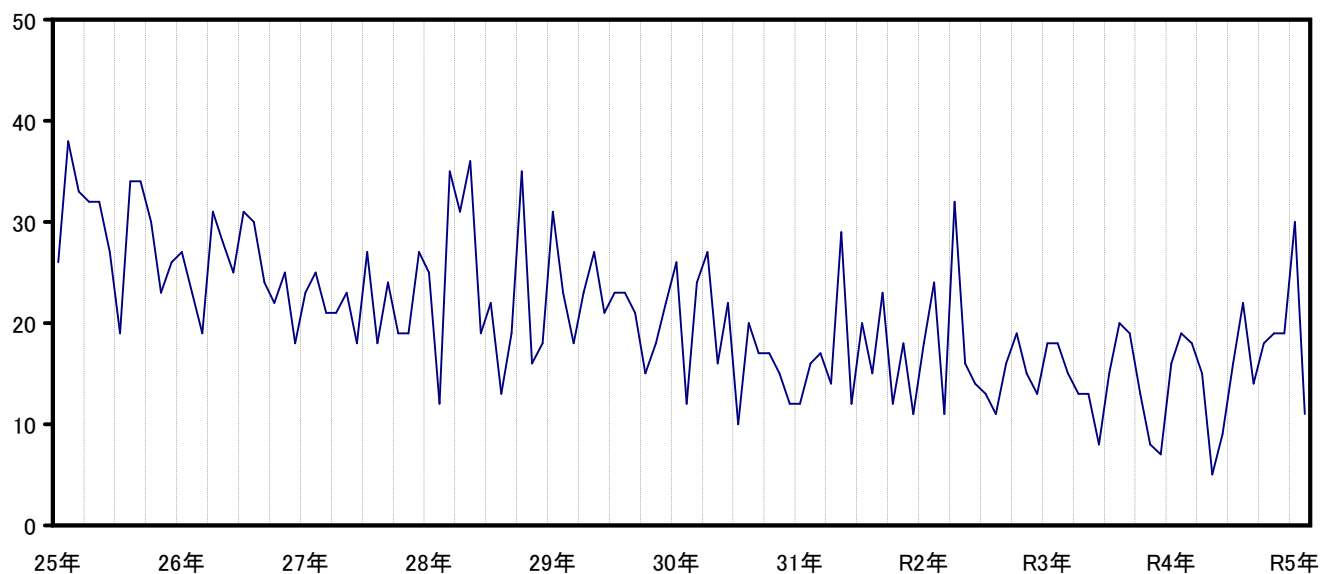


対ドル平均円相場(円)



企業倒産件数(件)

<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



Ⅲ 令和5年3月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車	<p>2月の国内二輪車生産台数は、56,164台（前年同月比7.8%増）で、8か月連続で前年実績を上回った。原付第一種（50cc以下）は、11,067台（同22.7%減）で、5か月ぶりに前年実績を下回った。原付第二種（51cc～125cc）は、4,200台（同83.7%増）で、5か月連続で前年実績を上回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、3,646台（同59.5%増）で2か月連続で前年実績を上回った。小型二輪車（251cc以上）は、37,251台（同12.1%増）で、8か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは、32,765台（同2.2%増）で、3か月ぶりに前年実績を上回った。輸出向けは、38,389台（同28.8%増）で、7か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車	<p>2月の自動車国内生産台数は、738,730台（前年同月比6.5%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。輸出は313,203台（同0.2%増）と、3か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>国内生産は、トラックが7か月ぶりに前年実績を下回ったものの、乗用車が2か月連続で前年実績を上回ったことから、全体でも2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>3月の冷蔵庫の国内出荷額は385億円（前年同月比6.4%減）で、2か月連続で前年実績を下回り、国内出荷台数は366千台（同6.6%減）で、5か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>3月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは1,083千台（同7.2%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。業務用は72千台（同6.5%増）で、3か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>3月の携帯電話の国内出荷台数は、1,164千台（同19.4%減）で、6か月連続で前年実績を下回った。うち、スマートフォンは、764千台（同30.7%減）で、6か月連続で前年実績を下回った。単月のスマートフォン比率は65.6%であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、JEITA/CIAJ</p>
生産用機械	<p>3月の工作機械の受注総額は、1,410億1,900万円（前年同月比15.2%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>内訳をみると、外需は916億5,000万円（同13.6%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。アジア向けが416億9,200万円（同19.6%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。内需は493億6,900万円（同18.0%減）で、7か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>県内中小企業や関連団体からは、「燃料費等の価格上昇、賃金の増加など先行き不透明な問題があり、仕事量は増えてきてはいるが、まだまだ利益率の上昇は見込めない。」「景気減速の懸念が現実味を帯び、設備投資は様子見の雰囲気があり、当面は修繕等小口受注に終始しそう。」という声が聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>

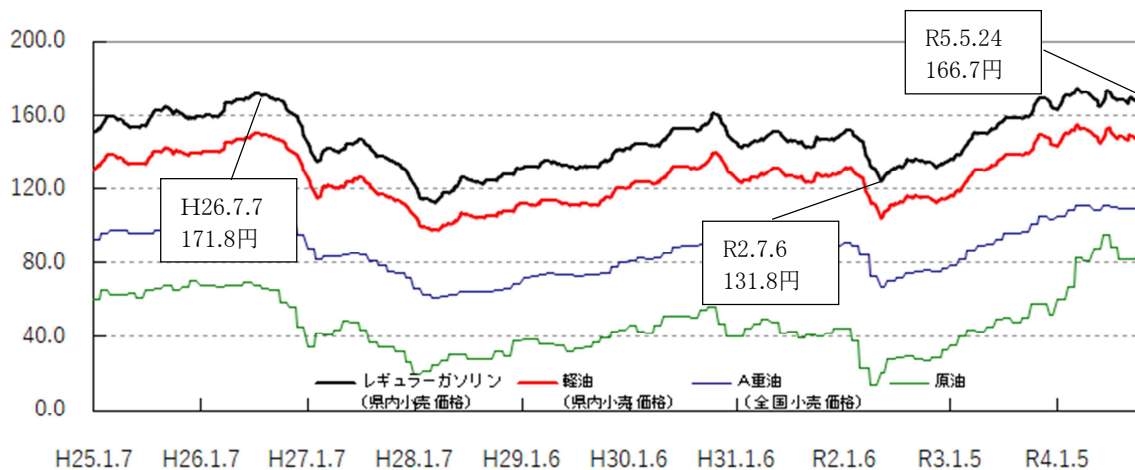
業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>3月の県内楽器メーカーの販売金額は、56億302万円（前年同月比 2.3%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。内訳は輸出向けが34億2,798万円（同 13.2%増）で、国内向けが21億7,504万円（同 19.7%減）であった。</p> <p>ピアノ生産台数は3,483台（同 8.5%増）であった。機種別では、アップライトピアノが2,346台（同 6.8%増）、グランドピアノが1,137台（同 12.1%増）であった。また、販売台数は、輸出向けが2,418台（同 8.9%減）、国内向けが1,361台（同 12.7%増）であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>3月の紙・板紙の国内出荷高は、1,917千ト（前年同月比 5.7%減）で、7か月連続で前年実績を下回った。内訳は、紙は923千ト（同 8.1%減）で、7か月連続で前年実績を下回った。板紙は994千ト（同 3.4%減）と、6か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、500千ト（同 6.8%減）で、7か月連続で前年実績を下回った。ティシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、156千ト（同 9.2%減）と、4か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p>
缶詰・飲料	<p>3月の県内生産量は、食缶類が国内向け1,023千箱（前年同月比0.7%減）と2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は694千箱（同4.0%減）と2か月連続で前年実績を下回った。うち主力であるツナ缶は443千箱（同4.6%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は329千箱（同7.2%増）と5か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが7,467千箱（同0.5%増）と、7か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡缶詰協会</p>
織 維	<p>3月の広幅織物の県内生産は、708千㎡（前年同月比 7.9%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、651千㎡（同 4.0%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回った。別珍・コールテンの生産は、56千㎡（同 37.1%減）で、3か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>小幅織物の県内生産は、19千㎡（同 12.1%増）で、11か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>
家 具	<p>3月の全国百貨店での家具販売額は、49億4,620万円（前年同月比7.8%増）と3か月連続で前年実績を上回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、514億3,433万円（同0.9%減）と2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会</p>

業 種	産 業 動 向
小 売 業	<p>3月の県内百貨店・スーパーの販売額は、36,551百万円（既存店前年同月比0.3%増）と前年同月の実績を上回った。品目別に見ると、飲食料品、家庭用品が前年実績を下回ったが、衣料品、身の回り品が前年実績を上回った。</p> <p>中部の百貨店への聞き取りによると、前年同月と比較して売上げ及び来客数が増加した。特に、身の回り品や雑貨（化粧品、宝飾・貴金属等）の売上げが好調だった。化粧品は4月以降の値上げに伴う駆け込み需要が見られた。</p> <p>東部の専門店への聞き取りによると、前年同月と比較して来客数は減少したが、売上げは前年並みだった。特に、旅行需要の高まりから、旅行用品や衣料品の売上げが好調だった。また、映画館等サービス施設の売上げも好調だった。</p> <p>西部の食品スーパーへの聞き取りによると、売上げ及び来客数が前年同月並みだった。一部の青果（じゃがいもやキャベツ等）が相場安となり、売上げが減少した。一方、弁当・総菜の売上げは好調だった。</p> <p style="text-align: right;">〈資料〉 関東経済産業局、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>令和5年3月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約49万人で、前年同月比20.1%増となった。</p> <p>本年の3月は、全国旅行支援の期間であったことや、新型コロナウイルス感染症の5類移行が発表され、マスクの着用は個人の判断が基本になる等、新型コロナウイルス関係の規制が緩和されたことが要因と考えられる。</p> <p>主要有料道路（4路線）の合計通行車両数は、約64万台となり、前年同月比3.4%増となった。</p> <p style="text-align: right;">〈資料〉 静岡県観光政策課</p>

＜原油高の状況について＞

新型コロナウイルス感染症からの経済活動再開に伴う需要増大や、海外情勢の不安定化などにより原油価格が上昇。

足もとの県内ガソリン等小売価格は、レギュラー166.7円/Lと、平成26年7月以来の高水準。



Ⅳ データからみた県内主要産業

<二輪車>

	R 4年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R 5年1月	2月	3月
完成車生産台数(台)	27,659	26,711	29,757	28,727	30,059	26,935	24,502	26,832	27,553
前年同月比(%)	22.4	28.2	72.3	71.7	10.9	4.4	16.4	▲ 0.8	▲ 1.6
KD輸出額(百万円)	988	906	1,207	1,632	1,633	1,573	1,491	1,576	1,663
前年同月比(%)	▲ 15.3	▲ 2.2	▲ 18.2	51.8	14.4	4.6	4.0	▲ 2.8	▲ 14.3

<楽 器>

	R 4年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R 5年1月	2月	3月
生産総額(百万円)	3,207	2,582	3,256	3,304	3,276	3,236	2,827	3,294	3,528
前年同月比(%)	4.6	0.7	8.4	9.4	7.2	9.2	1.4	12.7	9.1

<缶 詰>

	R 4年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R 5年1月	2月	3月
食缶生産高(千ケース)	1,010	981	960	1,029	1,022	1,010	914	910	1,023
前年同月比(%)	▲ 1.6	0.6	▲ 9.9	▲ 1.4	1.7	14.8	3.5	▲ 2.7	▲ 0.7
うち水産缶詰(%)	▲ 0.8	1.7	▲ 7.1	4.3	1.9	15.9	4.9	▲ 8.3	▲ 4.0
農畜産缶詰(%)	▲ 3.6	▲ 2.1	▲ 15.8	▲ 13.8	1.3	12.1	0.7	10.6	7.2
飲料缶生産高(千ケース)	7,926	7,545	6,447	7,099	6,413	6,473	5,066	6,130	7,467
前年同月比(%)	3.0	▲ 2.0	15.0	22.3	3.5	17.5	7.3	0.6	0.5

<織 維>

	R 4年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R 5年1月	2月	3月
広幅織物(千㎡)	736	680	785	780	903	746	747	691	708
前年同月比(%)	10.8	17.5	21.2	13.8	11.0	▲ 2.5	0.0	4.8	▲ 7.9
小幅織物(千㎡)	15	14	15	16	17	20	15	16	19
前年同月比(%)	7.4	5.9	21.1	11.6	29.3	37.1	3.1	0.8	12.1

<観 光>

	R 4年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R 5年1月	2月	3月
延べ宿泊者数 (千人泊)	1,693	2,387	1,522	1,484	1,703	1,723	1,417	1,454	1,914
前年同月比(%)	23.3	44.4	61.7	19.3	9.1	0.9	9.1	47.0	27.8
観光施設(10施設)入込 (千人)	273	461	319	427	389	298	352	321	494
前年同月比(%)	8.9	72.4	258.7	9.7	▲ 5.7	▲ 3.8	29.2	63.1	20.1
有料道路(4路線)通行 量(千台)	609	706	561	613	608	620	548	557	644
前年同月比(%)	▲ 0.4	15.6	12.4	7.5	0.1	0.4	5.6	19.8	3.4

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・専門量販店等販売額	・鉱工業在庫指数	・雇用保険受給者実人員	・県内金融機関貸出残高
・自動車新規登録台数		・完全失業率	・信用保証協会保証金額
・新設住宅着工戸数		・所定外労働時間指数	・企業倒産件数
・清水税関支所管内輸出額			
・清水税関支所管内輸入額			

提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	http://www.ejcs.co.jp/region/index.html
設備投資	日本銀行静岡支店	http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	http://www.boj.or.jp/type/stat/boj_stat/index.htm
円相場		

参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	http://www.meti.go.jp/statistics/index.html
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	http://www.mof.go.jp/siryou.htm
国際収支		
機械受注	内閣府	http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html
完全失業率	厚生労働省	http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告

令和5年5月号 通巻565号

発行 静岡県経済産業部
令和5年5月

編集 経済産業部政策管理局産業政策課
〒420-8601
静岡市葵区追手町9-6
TEL 054-221-2635
FAX 054-221-3217
E-mail sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp
URL <https://www.pref.shizuoka.jp/kensei/introduction/soshiki/1002123/index.html>